

ご教示願います！

SDGsの取り組み方

Vol.14

2023年現在、新型コロナウイルス

属の明電産業株式会社様を訪問し、毛塚武久代表取締役社長、戦略企画室・後藤圭介室長、環境開発部・相澤寛朗様、業務部・菅又美沙様の4名にお話を伺いました。

しかしながら、「SDGsに取り組みたいが、どのようにして進めていけばよいか分からない」という声を多く頂いたことから、すでにSDGsに取り組まれている会社様へ緊急取材をお願いし、SDGsとは何なのか、取り組みのメリットなどをお伺いし、組合員会社様のSDGs取り組み会社増へと繋げる記事を連載致します。

第14回目の今回は、北関東単組所

属の明電産業株式会社様を訪問し、毛塚武久代表取締役社長、戦略企画室・後藤圭介室長、環境開発部・相澤寛朗様、業務部・菅又美沙様の4名にお話を伺いました。



電材業界は、言葉で表現し辛い
業界だから、SDGsを通して、
ホームページで謳う必要がある

会社と個人の2つの軸で考えると、SDGsに取り組みやすい

事務局 SDGsに取り組まれたきっかけをご教示頂けますか？

毛塚社長 SDGsに取り組む前から、太陽光発電やLED照明等の省エネ商品を扱っていましたが、省エネ商材を扱う商社として、PRするキャッチコピーをずっと探していました。

すると、4～5年前、日本政府がSDGsに取り組むというニュースが話題となり、調べてみると、17の目標の内、7番目の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」は、私達がすでに取り組んでいる事と一致していました。当時は、まだ誰もバッジを付けていない時でしたので、チャンスと思い、バッジを装着し

て、省エネ商材を展開出来ればと目論見ました。勿論、私1人で取り組んでも社内には浸透しませんし、お客様にも伝えていくにはいけないと感じたため、まず初めにバッジを社員全員に配布し、意識付ける事から始めました。

会社によつては、役員だけ付けている所もあるかと思いますが、全員が付けてこそ意味があると感じています。

また、SDGsに取り組むにあたり、会社で取り組むSDGsと、個人で取り組むSDGsの2つの軸で始めました。私が参加しないSDGs委員会を10人程度の社員に任意で集まってもらい、その中で議論した結果、会社の軸としてはフードドライブを、個人の軸としてはエコバッグ・マイカップ・マイボトルを会社でも使用する事とし、取り

RADIO BERRY (FM 栃木)「SDGs CONNECT」にて、明電産業様のSDGsについてインタビューされています。



相澤様出演



菅又様出演

NEWS RELEASE																							
令和3年7月15日																							
お客様各位																							
株式会社 栃木銀行 取締役 部長 澤之介																							
寄贈サービス付私募債「とちぎん SDGs 私募債 (未来へのこころ)」の受託について																							
株式会社栃木銀行(以下「本行」)は、この度、寄贈サービス付私募債「とちぎん SDGs 私募債 (未来へのこころ)」を受託しましたので、下記の通りお知らせ致します。 寄贈サービス付私募債は、私募債発行に際し、本行の社会貢献活動の一環として、本行が受贈る収益の一部を供出し、社会貢献活動の促進を図ります。本行が受贈る収益は、寄贈先(寄贈先)に寄付または寄贈するサービス付私募債です。 今回、明電産業株式会社(代表取締役 毛塚武夫)様において、本銀行に賛同いただき、寄託は栃木県へ提供させていただきます。 今後、本行は地域振興・経済活性化に向けた取組の強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。																							
＜受託企業概要および受託内容＞ <table border="1"> <tr> <td>受託企業</td> <td>明電産業 株式会社</td> </tr> <tr> <td>本社住所</td> <td>栃木県宇都宮市西郷三丁目1番5号</td> </tr> <tr> <td>代表者</td> <td>代表取締役 毛塚武夫</td> </tr> <tr> <td>設立</td> <td>昭和48年</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>電気用電気機器製造</td> </tr> <tr> <td>取引日</td> <td>令和3年7月15日</td> </tr> <tr> <td>資金使途</td> <td>運転資金</td> </tr> <tr> <td>償還方法</td> <td>一括償還</td> </tr> <tr> <td>金利</td> <td>無利息</td> </tr> <tr> <td>償還品</td> <td>金銭(期間満了時現金で償還)</td> </tr> <tr> <td>受託理由</td> <td>新型コロナウイルス感染症の蔓延で深刻化している地域振興の観点から、本行の社会貢献活動の一環として、地域振興・経済活性化に向けた取組の強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。</td> </tr> </table>		受託企業	明電産業 株式会社	本社住所	栃木県宇都宮市西郷三丁目1番5号	代表者	代表取締役 毛塚武夫	設立	昭和48年	事業内容	電気用電気機器製造	取引日	令和3年7月15日	資金使途	運転資金	償還方法	一括償還	金利	無利息	償還品	金銭(期間満了時現金で償還)	受託理由	新型コロナウイルス感染症の蔓延で深刻化している地域振興の観点から、本行の社会貢献活動の一環として、地域振興・経済活性化に向けた取組の強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。
受託企業	明電産業 株式会社																						
本社住所	栃木県宇都宮市西郷三丁目1番5号																						
代表者	代表取締役 毛塚武夫																						
設立	昭和48年																						
事業内容	電気用電気機器製造																						
取引日	令和3年7月15日																						
資金使途	運転資金																						
償還方法	一括償還																						
金利	無利息																						
償還品	金銭(期間満了時現金で償還)																						
受託理由	新型コロナウイルス感染症の蔓延で深刻化している地域振興の観点から、本行の社会貢献活動の一環として、地域振興・経済活性化に向けた取組の強化を図り、地域社会の発展に貢献してまいります。																						

栃木銀行「とちぎん SDGs 私募債 (未来へのこころ)」受託証明書

組み始めました。

事務局 会社で出来る事と個人で出来る事の2つの軸で考えれば、取り組み内容を検討しやすいですね。

毛塚社長 会社をさらに成長させるには、SDGsのようなテーマがあると取り組みやすいですし、その取り組む姿勢が社員のモチベーションアップに繋がります。モチベーションが上がれば、売上にも繋がる。売上が上がれば、また社会貢献に繋がっていく。社会貢献に繋がれば、認知度が上がり、若手社員も採用しやすくなる。SDGsに取り組む事は、売上が必ず上がるという訳ではないですが、様々な事を循環させ、会社力

を向上させる力があると思います。

このコロナ禍は、売上を上げる事が難しかった3年半でした。しかしながら、このSDGsに取り組む事で、社内

新しいテーマが出てきて、社内で議論したり、ラジオ出演したりして、これまでにない活動が出来たと感じています。
事務局 宇都宮市のコミュニティラジオ出演の模様、私も拝聴しました。明電産業様がとても宇都宮市に親しまれている会社様という印象を持ちました。D Jの方も「栃木を代表する再エネ・省エネで有名な明電産業様」と伝えており、採用にも響く活動と感じました。

地元根付いている会社こそ、地元に還元するSDGsを

事務局 以前、「とちぎんSDGs私募債」を行われたそうですが、どういった内容ですか？

毛塚社長 2年前、コロナ感染による医療崩壊が毎日のようにテレビで流れていた頃、感染者がたらい回しにされて、救急車が動いても病院に入れないという最悪の状況でした。

そんな中、必死に看護している医療従事者がバッシングされる傾向がありました。家族の中で病院に務めている方がいるだけで感染を疑われる風評被害も

ありました。その社会風潮にとても疑問を感じ、当時、マスクや防護服が不足しているという問題があった事と、私自身が育てて頂いた栃木県に恩返しをしたいという想いが相まって、銀行の金融商品を使って栃木県の病院に寄付しようと思い、栃木銀行のSDGs私募債を使いました。これを使うと数%を好きな所に寄付出来る仕組みになっており、その数%を使って、栃木県に寄付をしたという経緯です。

地域によって違いはあるかもしれませんが、私募債は自分で寄付先が指定出来ます。例えば自分の母校の奨学金やフードバンクの支援等、指定して支援が

出来るので、社会貢献しやすい金融商品だと思っています。

事務局 銀行の私募債は会社評価の高い企業にしか声がかからないと聞きますので、明電産業様の信頼の厚さを改めて感じました。

また、別の取り組みで、電材業界で「貧困をなくそう」という目標を掲げて取り組まれています、そのような会社様はあまり聞きません。どのようなきっかけで、フードドライブを始められたのですか？

後藤室長 県が行っているエコがテーマ



明電産業様で集めたフードドライブ



後藤室長と宇都宮市役所のご担当者様

の展示会に参加した際、省エネ素材やEV電池を紹介しているブースが多い中、食品寄付を呼び掛けているブースがあり、そこで、フードバンクという組織があることを知りました。その会社はNPO法人として、宇都宮市内の各所に寄付された食品を配る活動に取り組んでいました。また、宇都宮市役所のフードロスに取り組んでいる部署と連携していたので、迷いなく協力させて頂きました。

毛塚社長 フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、

地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付する事です。初めはフードドライブではなく、子ども達のための寄付金という形も考えました。しかし、全員参加出来るフードドライブの方が意識は高まると感じました。

始めはよく分からなかったですが、家に眠っている缶詰やカップラーメンを1人1個ずつ持ってくれば、弊社の社員は150名いますので、一度でかなりの数を集める事が出来ます。負担があると取り組みは続きません。負担がなく、継続して取り組む事が社会貢献だと思っています。

フードドライブに取り組んだ事で、宇都宮市の子ども達や親御さん等、困っている方が大勢いる事を初めて知りました。私を育てていただいたこの土地に誰もいない部屋で、1人で食事している子ども達が大勢いる事は、この活動が無ければ気付かなかったと思います。

後藤室長 フードバンクの会社を訪ねた時も実際に相談に来られていた方を目の当たりにしました。

事務局 「繋がりがあればやるけど…」という読者も多いと思いますが、常にア

ンテナを張って、気づいて行動を起こす精神が凄いいと思います。

後藤室長 行動を起こすためには、困っている子がいるかもしれないという想像力を持つ事が大事です。想像力があれば、勇気を出して電話して、こういう事をやりたいですと言えらと思います。私達も繋がりは全くなかったですが、受け入れ先を自分達で探し、役所に連絡をしたら、「喜んでお受け致します」とすぐ回答を頂きました。

相澤様 SDGsは幅が広いので、地元色を強く出したり、企業ならではの地域貢献に繋げる活動が出来ると思います。宇都宮は、海も山も無い街ですが、身近な所をピックアップすれば、どの会社様でも取り組みが出来ると思います。

発信する側に立っていかないと異業種からの参入に負ける可能性はある

事務局 SDGsに取り組まれてから、社員の皆様は、今、SDGsに対して、どのようなお考えですか？

明電産業様から伺った SDGsに取り組むポイント

- 1、地元に根付いている会社様こそ、地元に還元するSDGsに取り組んでみてはいかがでしょうか。
- 2、就活生や中途採用希望者は、会社ホームページを見てから応募を判断する事が多い。社会貢献に繋がる業界だからこそ、ホームページにSDGsの取り組みを掲載する事は採用に対して有効。電材業界はどのような業界か分かりづらい業界だからこそ、SDGsに取り組み、SDGsを通して説明すれば、分かりやすく業界を伝える事が出来る。



相澤様 私達の仕事は、メーカー様が作った商品をユーザーに届ける間の販売です。私達がSDGsを通して、どういう物を提案した方が良いのか、提案にも責任を感じています。値段よりもそういう視点に、これからもっとニーズが出てくると思います。

会社では、様々な社会貢献活動に取り組み、仕事では社会貢献活動に見合った商材を使って頂こうと、営業活動の武器として伝えていく事が使命と感じています。

SDGsは、これから先、生まれて生きていく子ども達のために、私達が

事務局長 ありがとうございます。では、

やっていかななくてはならない事が根底にあります。社員皆、バッジを付けて、SDGsに関心を持つて業務に取り組み、家に帰れば、子ども達にSDGsを伝えていく事が大切だと思います。

菅又様 私の子どもは2歳になります。勿体無いと思うような過剰な物を無くしたり、ストローを使わないようにすると、真似してきますので、自分から環境に配慮した生活を意識していると、次の世代に良い影響を与えられると思います。

最後に、「この電材業界の仕事自体がSDGsだから、わざわざ取り組んでい」とHPに謳う必要性はないのではないかと「というご意見を頂いた事があるのですが、どのようにお考えですか？」

毛塚社長 電材業界はどういう業界なのか、言葉では非常に表現しづらい業界です。だからこそ、「電材業界とはどういう業界なのか」を、SDGsを通して、HPで謳う必要性があります。SDGsを通すと、電材業界の仕事内容は非常に分かりやすく説明出来、社会貢献活動もまとめて掲載する事が出来ます。

卸業は、メーカー様、お客様の間に

立つ調整役です。昔は、目立ってしまうと扱いづらい立ち位置でしたが、今は、発信する側に立っていかないと、異業種からの参入に負ける可能性があります。発信する事で電材業界をアピールする事が電材業界を盛り上げる事に繋がると 생각합니다。

明電産業様のSDGsの取り組みは、
<https://www.meidens.com/sdgs> からご確認下さい。

過去の掲載分は、全日電材連ホームページ「SDGsへの取り組み」にて掲載中。
SDGsに取り組み、取材許可を頂ける会社様がございます。たら、全社伺わせて頂きます。全日電材連・事務局・伊達までご連絡下さい。
(03-3541-7192)